



「明日へ」(作詞：稲垣凜和 作曲：熊本尚美)

ずっと前を向いて ポジティブに考えて
そんなこと言われたって 悩んでる
そんな自分が嫌でも ネガティブに考えても
未来へ向かって歩いているんだ
ほら明日へ向かおうよ
嫌なことなんて忘れて
ほら君もおいでよ みんなで走り出すんだ
ほら明日へ向かおうよ
辛いことなんて忘れて
ほらみんなで走ろうよ
みんなで 明日へ
ずっと前を向いて ポジティブに考えて
その方が良いのか なって 迷ってる
でも ぼくはぼく 君は君 じゃない?
変わらなくて たって 良いんじゃない?
前向きだって 悩んでしょ?
ポジティブだって 迷うでしょ?
誰も完璧じゃないから
みんなで力を合せても
苦労も 困難も 悲しみも
乗り越えていこうよ

< 『春よ、来い』に想う >

かつて担任したKは暴走族に入り、暴行で家裁送致され少年院に服役した。院内の仮卒業式、入場曲の物悲しいピアノの前奏を聴き、心が高鳴る。ユーミンの『春よ、来い』、「夢をくれし君の眼差しが肩を抱く」。30人近くが列をなし先導はKだった。模範生として総代・誓いの言葉を場内に響く凜とした声で発するの聞き、涙が止まらなかった。面会ではにかむKの表情が忘れられない。

『春よ。来い』は東日本大震災復興支援で歌われた。「愛をくれし君の懐かしき声がする」。魂を近くで感じる希望を与えてくれた。命の大切さをあらためて感じる事ができた。

熊本先生から入場ピアノ伴奏曲の選定依頼があり、『春よ、来い』をお願いした。リオ日学の体育館にピアノが流れる瞬間を想うと、予行では別の人にしてもらい、今日、本番を迎える。入場する子どもたちを見て私は・・・